

第10回 商い甲子園で高知県知事賞 (第2位) を受賞しました!

Minamiuwa high school

青春! 食育!

~農業科活動日記~

参加者 地域振興研究部

農業科1年 尾本一輝 (御莊中出身)、橋本弦 (御莊中出身)、坂本佳久 (御莊中出身)
 普通科2年 赤松藍 (城辺中出身)、木下紗羽 (城辺中出身)、田中李奈 (城辺中出身)



8月11日(金)から12日(土)に高知県安芸市で開催された第10回「商い甲子園」に参加しました。

初日は、高知県の郷土料理作りの体験があり、巻き寿司とちりめんじゃこを使った「なすのたたき」などを地元の人に教えてもらいました。その後は、民泊をさせていただき、昨年度の「商い甲子園」の様子を教えていただいたり、販売方法のアドバイスをしてもらいました。

2日目は「商い甲子園」当日で、23チームが参加し、地域特産品の販売をしました。本校は、愛媛県の都市伝説になっている蛇口をひねるとジュースが出る「蛇口ジュース」を設置し、愛南ゴールドジュースを販売しました。珍しさもあり、たくさんの方が訪れてくれて大盛況でした。この大会の審査方法は、接客態度、商品のディスプレイ、商品説明やテーマ性、独創性などが審査の対象となっていて、審査の結果、第2位の高知県知事賞をいただくことができました。

それいけ 愛南ぎょレンジャー



南宇和高校美術部による愛南ぎょレンジャーやなーしくんの4コマ漫画を掲載します。

編集後記

「さあ、行こうか」
 あけぼのグラウンドで行われたえひめ国体女子サッカーの3位決定戦。試合前のミーティングを終えて両チームの選手たちが真っ先に向かったのは、小中学生で埋まった仮設の応援席でした。
 一列に並んだ選手たちが深々と一礼すると、声援はひときわ大きくなって会場全体に響き渡ります。予定になかったセレモニーですが、「子どもたちの声援に応えたい」とチーム側からの申し出で実現したそうです。選手の粋な計らいにぐっと心をつかまれました。 ㊦

「ももとはは野球人。ソフトボールを通じて野球も盛り上げていけたら」。えひめ国体でソフトボールの公式審判員を務めた粟野好晴さんの言葉です。粟野さんによると、小学生年代におけるソフトボールの経験が、中学、高校で野球をやる際にも基礎技術となるそうです。また、ソフトボールは野球と比べてフィールドが狭い分、スピード感があり、それがソフトボールの魅力だそうです。
 これからも選手と審判員の両方の立場での活躍を期待しています。 ㊦

愛南町の世帯数と人口

平成29年10月1日現在

世帯数	10,491世帯 (-22世帯)	男	10,435人 (-13人)
人口	22,136人 (-34人)	女	11,701人 (-21人)

※ () 内は前月比

- 愛南町の高齢化率 **40.8%**
- 10年前 同月の人口 **26,851人**